



萌 木

1 月 号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校
校 長 山 田 勝
令和5年1月18日発行

3学期を「0学期」として

校長 山田 勝

新年あけましておめでとうございます。

3学期が始まり1週間が立ちました。3年生は各自の進路実現に向けた具体的な取り組みが、1, 2年生は中学校で初めての宿泊行事であるスキー移動教室への取り組みが始まっています。例年通りとはいかないことが当たり前になっているこの感染下での学校での生活・活動ですが、生徒一人ひとりにとって満足が、そして納得できる成果を上げてくれることを願っています。

さて、3学期は3つの学期で一番短い学期ではありますが、学校暦の中ではまとめの時期であるとともに、4月からの新しいスタートを切るための準備の時期としても位置付けられています。

そのことを踏まえ、始業式では次のような話をしました。

令和5年、2023年あけましておめでとうございます。

この冬休み、みなさんはどのように過ごしましたか。

2学期の終業式で、みなさんに1年の目標を立てましょうという話をしましたが、自分の16歳、20歳、30歳にどんな自分になっていたいと考えてみましたか。

目標・夢を持つことはとても大切なことだと思います。「こういう仕事をして社会に貢献したい」「こんな自分になって、こういう幸せな家族を持ちたい」など、自分が生きていく上での大きな目標・夢がはっきり持てることは幸せです。でもなかなかそのことを考えることは難しいかもしれません。

さて、2学期終業式の代表生徒の2学期の反省と新学期への目標の話の中で、4月からの1学期にむけた「0学期」としてこの3学期を捉えて、準備にしっかり取り組みたい、という目標の話を聞くことができました。とてもいい考えだと思いました。

その0学期の取り組みについてお話をしたいと思います。

少し数学の話になってしまうのですが、1学期の前の学期を「0学期」と捉える考えは1, 2, 3と続く学期を正の整数とみてその前だから「0学期」とみたのだと思います。私たち人類が数の概念をはじめに勝ち取ったのは1, 2, 3, 4と続く自然数でした。エジプトやギリシャ文明は「0」の考えがない中での文明だと考えると驚きです。その後、7世紀にインドの数学者が現在私たちも使っている「0」の概念を確立させたといわれています。0という数を獲得して文明は飛躍的に発展してきました。0がすべての始まりだといっても言い過ぎではありません。0は何もない、ということではありません。すべては0から始まるということなのです。原点、という表現をすることもあります。その人類を発展させた「0」の考えを身につけ「0学期」としてもこの3か月の生活に取り組む、と考えられた皆さんはとても素晴らしい考え方を獲得したのだと思います。

「1」に向け、原点である「0」から自分がどのように進むのか、どのような幅でどの方向に進むのか、いろいろな可能性を持っています。改めて、自分の目標・頑張りたいことの実現に向けた一歩をしっかりと踏み出しましょう。

今年もよろしく願います。